

## 事例 No.170

# 三田地区社会福祉協議会

### 《組織について》

会長1名・副会長4名

民生委員・自治会・児童委員・婦人会・ボランティア関係

計42名

### 《組織の設立経緯》

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目標にしている



## 活動内容

- ・ふれあい食事会 H3より開始  
65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に年7回実施。  
福祉施設や学校等を利用し開催している。  
食事や余興を楽しんでいますが、お店での買い物を楽しみに参加される方も多い。
- ・敬老会  
9月の敬老月間に65歳以上の独居高齢者と75歳以上の方々にお味噌を贈呈。
- ・高齢者の見守り活動  
1人暮らし高齢者に対し、新年を迎えるための安否確認と共に、お正月の祝い餅を贈呈。
- ・三つわ祭り  
9月につわぶき授産工場関係者と三田地区住民とのふれあい祭りの開催。
- ・子どもの見守り活動（3～4年前より開始）
  - ① 三田子ども祭り（夏休みの第1土曜日 三田小学校）へ参加  
民生委員・地区社協で1つずつ模擬店を出店
  - ② 米づくり教室（5年生対象）  
学校行事の一環として農家・地区社協の協力にて田植えから稲刈りを経験。  
しめ縄作りや餅つきもおこなう。作った鏡餅をかまやま神社へ納付。
- ・障がい者の見守り活動
- ・要援護者の実態調査
- ・地区防災会  
年1回会議を実施し勉強会へも参加。各年に防火訓練を実施している。

## 工夫・問題点

- ・会員集めが大変
- ・若い世代に参加してもらえる環境づくり

## 活動予定

災害に備え、防災の啓発をするとともに、住民の自助・共助の意識を高める活動